

平成31年度 大学院総合国際学研究科博士前期課程  
 <国際日本専攻 国際日本コース>

募集区分	試験科目区分	科目名	ページ	詳細
秋季募集	専門科目	基礎問題	2	日本語学、日本語教育学、日本語文学・文化、日本社会研究の各領域に関する出題のうち、5つを選択して解答する。
		論述問題	3~5	日本語学、日本語教育学、日本語文学・文化、日本社会研究の各領域に関する出題のうち、3題を選択して論述する。
冬季募集	筆答試験実施無し			

# 入学試験問題用紙

受験番号

2019(平成31)年度  
秋季募集

大学院総合国際学研究科博士前期課程

国際日本専攻

国際日本コース

専門科目

採点欄

1 / 5

## 【注意】

- 1、問題用紙はこの表紙を除いて4枚、解答用紙は「基礎問題解答用紙」が5枚、「論述問題解答用紙」が3枚です。
- 2、問題は【基礎問題】と【論述問題】からなります。両方について、指示に従って解答して下さい。
- 3、解答には必ず指定された解答用紙を用いて下さい。

# 入学試験問題用紙

受験番号

2019(平成31)年度  
秋季募集

大学院総合国際学研究科博士前期課程

国際日本専攻

国際日本コース

専門科目

採点欄

2 / 5

## 【基礎問題】

次のA1からD4までの各項目（術語・人名・作品）から自由に5つを選び、簡潔に説明しなさい。解答は「基礎問題解答用紙」に、1項目につき1枚を用い、項目番号を明記して解答すること。解答は、日本語で書くこと。ただし、\*印のある問題のみ、英語で解答してもよい。

なお、項目番号のAは日本語学、Bは日本語教育学、Cは日本文学・文化、Dは日本社会研究の各領域からの出題であることを示す。  
(24点×5問=120点)

A1 \* (言語記号の) 恣意性 arbitrariness

A2 連濁

A3 意味役割 semantic role

A4 金田一春彦

B1 役割語(role language)

B2 文化相対主義 (cultural relativism)

B3 BICS (基礎的対人伝達スキル: Basic Interpersonal Communicative Skills) と CALP (認知的・学問的言語能力: Cognitive Academic Language Proficiency)

B4 \* 中間言語 (interlanguage)

C1 『うつほ物語』

C2 鴨長明

C3 \* 新体詩

C4 国木田独歩

D1 \* 排日移民法 (1924年) The Immigration Act of 1924

D2 \* 優性保護法 (1948年 - 1996年) The Eugenic Protection Law

D3 \* 米騒動 The 1918 Rice Riots

D4 \* 治安維持法 The Peace Preservation Law

# 入学試験問題用紙

受験番号

2019(平成31)年度  
秋季募集

大学院総合国際学研究科博士前期課程

国際日本専攻

国際日本コース

専門科目

採点欄

3

5

## 【論述問題】

次のA1からD3の12題の中から、3題を選び、論述しなさい。解答は「論述問題解答用紙」に、1題につき1枚を用い、問題番号を明記して解答すること。解答は、日本語で書くこと。ただし、\*印のある問題のみ、英語で解答してもよい。

なお、問題番号のAは日本語学、Bは日本語教育学、Cは日本文学・文化、Dは日本社会研究の各領域からの出題であることを示す。問題の選択は、各自の入学後の専門を考慮し、領域をまたがってもよい。  
(60点×3問=180点)

A1\*

日本語では、(1)のような表現に加えて、(2)のような表現も可能である。

(1) 田中さんは3冊の雑誌を図書館で読んだ。

(2) 田中さんは雑誌を図書館で3冊読んだ。

(2)のような表現を許すのはどのような環境なのか、また、許さないのはどのような環境なのか、具体的な例を挙げて論じなさい。

A2

いわゆる動詞の過去を表す言い方(「行った」で例示する)には、次の2つの分析が可能である。

(1) (太郎が学校に) 行った

(2) (太郎が学校に) 行った

「行った」が(1)のように2語から成ると考える分析と、(2)のように全体で1語とする分析について、具体的な例を補いながらそれぞれの分析の利点と欠点を述べなさい。

A3

単語の意味変化にはどのようなタイプがあるか、例を挙げてわかりやすく説明しなさい。その際、必要があれば下記の語例を用いなさい。

- ・ あわれ(だ)(原義は「ああ(感動した時の嘆声)」「しみじみするさま」)
- ・ せともの(「瀬戸(地名)産の陶器」>陶器一般)
- ・ しあわせ(原義は「めぐりあわせ」)
- ・ ぼうず(寺の主の僧>僧侶>少年(見下した言い方))

# 入学試験問題用紙

2019(平成31)年度  
秋季募集

大学院総合国際学研究科博士前期課程

国際日本専攻

国際日本コース

専門科目

受験番号

採点欄

4

5

B1\*

CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)とは何か。開発された背景や目的、言語観、日本語教育への波及効果などの観点から説明せよ。

B2

第二言語習得研究におけるインターアクション仮説とはどのようなものか。具体例を挙げながら、その理論的な背景を述べなさい。また、この仮説は日本語教育にどのような示唆を与えるか、論じなさい。

B3

以下の二つのタイプの日本語教育において、①学習者の特性、②学習目的及びニーズ、③学習内容・方法、の3項目について、教育/支援上の留意点を示しながら、わかりやすく論じなさい。  
「海外の初・中等教育機関における外国語としての日本語教育」と「日本在住の外国につながる子どもに対する第二言語としての日本語教育」

C1\*

日本文学において「追憶」はどのように表現されてきたか。時代の異なる具体的な作品を二つ以上例にとって述べなさい。

C2

日本古典文学において山はどのように表現されてきたか。二つ以上の作品を取り上げて具体的に論じなさい。

C3

日本の近代文学において「野性」「荒々しさ」はどのように表現されてきたか。二つ以上の作品を例にとって述べなさい。

# 入学試験問題用紙

受験番号

2019(平成31)年度  
秋季募集

大学院総合国際学研究科博士前期課程

国際日本専攻

国際日本コース

専門科目

採点欄

5

5

D1 \*

いわゆる「冷戦」が戦後の日本社会に及ぼした影響について、自由に論じなさい。

Please discuss the impact of the so-called “Cold War” on Japanese society.

D2 \*

現代日本では、「限界集落」という言葉がよく聞かれます。「限界集落」の定義を述べた上で、その現状、歴史的背景、根本的な原因について論じなさい。さらに、具体的な解決策を提案しなさい。

In contemporary Japanese society, one frequently encounters the term “collapsing village.” Please define the term “collapsing village” and discuss the current state, historical background, and underlying causes of the “collapsing village” problem. In addition, offer any solutions that you might have to the issue.

D3 \*

「技能実習制度 (Technical intern training program)」について、出入国管理及び難民認定法と国際労働力移動という二つの言葉を用いて論じなさい。

Please discuss the “Technical intern training program” by using the following two words, “Immigration Control and Refugee Recognition Act” and “international migration of labor.”

2019 年度博士前期課程秋季募集 国際日本コース  
問題訂正箇所

【修正 1】

該当箇所： 問題用紙 4/5 B2 1 行目

誤： インターアクション仮設

正： インターアクション仮説